

新大綱策定会議における審議の中断について

平成24年6月21日

原子力委員会決定

原子力委員会の新大綱策定会議（以下、「策定会議」という。）及び原子力発電・核燃料サイクル技術等検討小委員会（以下、「小委員会」という。）の会議資料準備過程において、透明性の確保の重要性に対する認識が足りなかったために、原子力行政に対する国民の信頼を損ねる状況となったことを深く反省しております。

原子力委員会は、策定会議における委員からの御批判を真摯に受け止め、小委員会の会議資料準備過程を検証することについて政府に相談するとともに、検証の結果を待つことなく、小委員会の会議資料準備に係る作業会合に関する資料の情報公開をすでに開始しました。また、暫定的な措置として、会議資料を準備する際の情報管理のルール及び原子力委員会の事務体制のあり方に関する当面の方針をとりまとめました。これらを踏まえて、信頼回復に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

策定会議については、これらの取組を踏まえて会議の運営方法等の見直しを行う必要がありますので、当面の間、審議を中断することとします。

なお、審議の再開は、政府のエネルギー・環境会議が間もなく開始する国民的議論を経て決定する予定の「革新的エネルギー・環境戦略」、特にそれに含まれる今後の原子力発電のあり方に関する方向性や、これまでの策定会議での審議内容を尊重し、原子力委員会として審議すべき事項を改めて検討した上で決定することとします。